



5万分の1地質図幅の新刊

薩摩硫黄島 SATSUMA-IŌ-JIMA

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著者 小野晃司・曾屋龍典・細野武男
 発行 工業技術院 地質調査所
 取扱先 京東地学協会 (03)261-0809 262-1401
 そのほか全国主要書店
 販売価格 2,390円

平家物語に 平清盛を倒そうという鹿谷の陰謀ししがたにがあらわれて僧俊寛らが鬼界が島に流される話ののっている。薩摩硫黄島が この鬼界が島である。

薩摩硫黄島地域は 鹿児島県三島村の薩摩硫黄島・竹島を含む区画で 薩摩半島南端の長崎島の南南西約40 kmにある。この図幅の大部分の面積は海であって 陸上部は薩摩硫黄島(以下単に硫黄島という)・竹島・新硫黄島の3島と数個の岩礁のみである。

この地域は 大部分が海中に没している大型のカルデラで占められている。このカルデラは鬼界が島に因んで鬼界カルデラとよばれている。上記の島や岩礁はこのカルデラ火山がわずかに海上に顔を出している部分である。

しかし この海域には 海上保安庁水路部による詳細な海底地形図があり 又 地質調査所(白嶺丸の調査航海・GDP計

画など)や水路部による音波探査などの地質調査も行われているので 本図幅には海底地形(20m等深線)・海底地質も表現されている。

地質は 陸上・海底を通じ 先カルデラ火山・カルデラ形成期の火砕岩類・後カルデラ火山に3大別される。カルデラは二重構造をしており 新期のものは約6,300年前に形成された。西日本から中部日本の日本各地に分布する広域火山灰「アカホヤ」は この噴火の際に放出された火山灰である。

硫黄島の後カルデラ火山硫黄岳は 海岸からそそり立つ流紋岩の急峻な成層火山である。頂上火口ほか多数の活発な噴気孔をもつ活火山で 硫黄や珪石が採掘されたこともある。海岸近くに湧出する温泉によって 海水が変色している(報告書にカラー図版で表現されている)。稲村岳火山は 硫黄岳成長の途中 約3,000年前に形成された玄武岩の小火山である。

新硫黄島(昭和硫黄島)は1934—35年(昭和9—10年)の噴火によって深さ300mの海底から生じた新島で 流紋岩の溶岩でできている。

鬼界カルデラ産の岩石は 先カルデラ火山から後カルデラ火山までのすべてを通じ 玄武岩—苦鉄質安山岩とデイサイト—流紋岩との2群に分かれ 明らかなパイモータル型の組成分布を示している。

報告書には この地域(海域)の陸上・海底地質のほか地球物理情報が短くまとめられて記述されている。

地質ニュース	第344号	4月号
	定価 ¥540	千実費
昭和58年4月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
印刷	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0952 (代表)	
	振替口座 東京 1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	
	出版事業部	